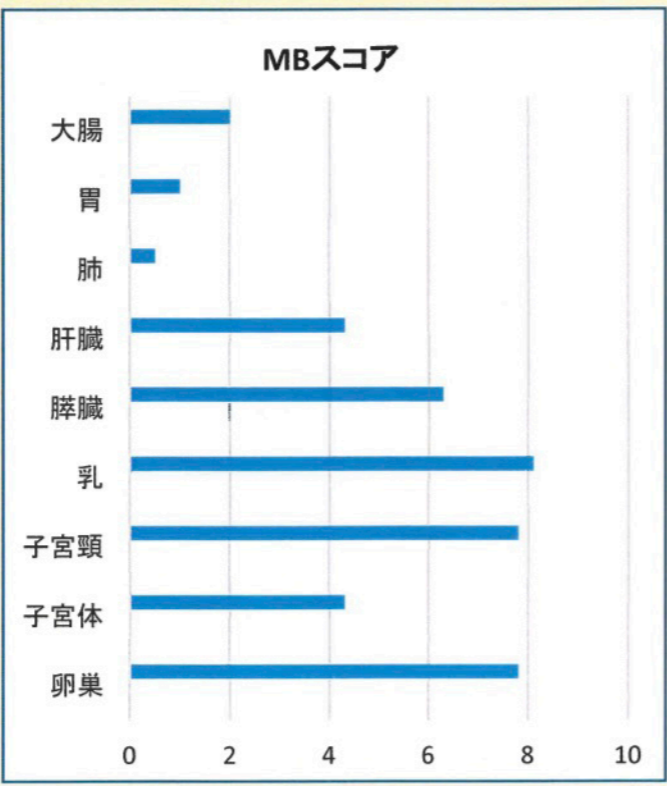


氏名	検体№
性別	検査日
生年月日	検査会場
MB会員番号	検査コース

MB検査結果

部位	判定	MBスコア
大腸	A	2.0
胃	A	1.0
肺	A	0.5
肝臓	B	4.3
すい臓	C	6.3
乳	D	8.1
子宮頸	D	7.8
子宮体	B	4.3
卵巣	D	7.8



○リスク判定結果のご説明

がんリスク判定はそれぞれの部位における「がんの方」、「健康な方」の血液中の微量元素濃度バランスとあなたのものとを比較して、その類似度合により「がんリスク」を評価したものです。

判定

MBスコアより、リスクを判断する目安として、「A判定」「B判定」「C判定」「D判定」の4段階に分類しております。それぞれの判定の捉え方については、下記の表をご参考ください。

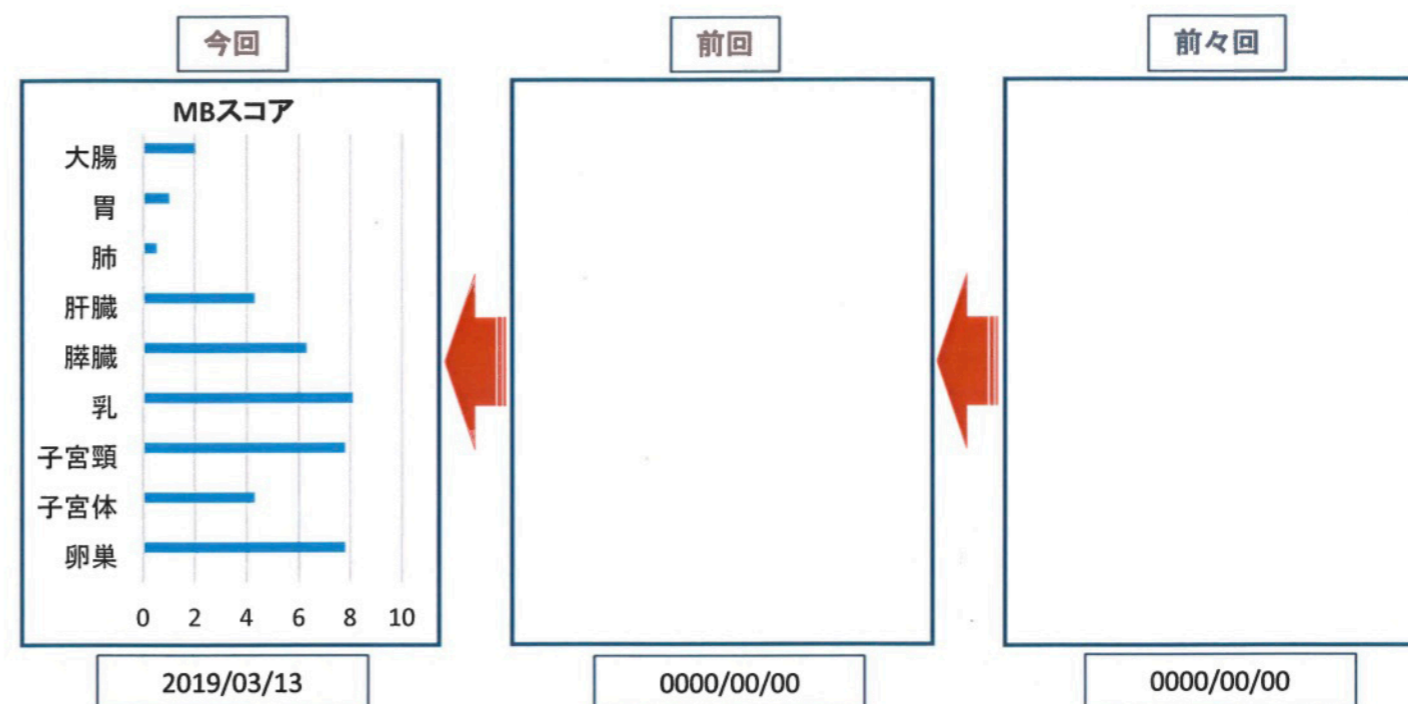
A	類似性が極めて低いと認められることから、がんリスクも極めて低いと判断されます。
B	類似性が低いと認められることから、一般の方のがんリスクと同程度と判断されます。
C	類似性が若干認められることから、がんリスクも低くはなく、若干注意が必要と判断されます。
D	類似性がいくつかの点で認められることから、がんリスクも相応に高く、注意が必要と判断されます。

MBスコア

それぞれのがんについて、現在がんである確率を0.0~10.0の数値で表しています。数値が高いほど、がんであるリスク(確率)が高くなります。

○これまでのMB検査結果の推移

MBクラブ会員の方は、以前お受けになったMB検査結果と現在の結果を見比べていただくことができます。毎年MB検査をお受けいただき、ご自身の身体の状態がどのように変化しているのかご確認ください。是非、健康管理の指標等にご活用して頂ければと思います。



○検査の結果について

D判定のあった方は

大腸、胃、肺、乳、子宮頸については国が推奨するがん検診を受診いただくか、本検査を受けたクリニックまたはかかりつけ医にご相談いただくことをお勧めいたします。肝臓、すい臓、前立腺、子宮体、卵巣については、本検査を受けたクリニックまたはかかりつけ医にご相談いただくことをお勧めいたします。

C判定のあった方は

検査日当日の体調の影響も考えられますので、要経過観察として半年後を目途に再度MB検査を受けることをお勧めいたします。

AまたはB判定のあった方は

引続き1年に1回はMB検査を受けていただくことをお勧めいたします。

その他特記事項

貴方の血液中の～の濃度に、基準値からの大幅なずれがみられました。原因としては、明確ではありませんが、体質面での特異性、お薬やサプリメント、飲食物等の影響が考えられます。そのため、検査結果につきましては、この影響を大きく受けて、過度な判定となっている可能性がございます。よって、今回の結果は参考情報としてお考えいただくようお願いいたします。

がん以外の疾患のリスクについて

MB検査では、がんでなくてもMBスコアが高く出る可能性がございます。その原因として現在考えられているものを右にまとめました。

がん以外にも右記の疾患の可能性もございますので、医療機関の受診をお勧めします。

部位	MBスコアが高値となる可能性のある疾患
大腸	大腸ポリープ、大腸炎、過敏性腸症候群
胃	胃ポリープ、ピロリ感染症、機能的胃腸炎、胃・十二指腸潰瘍
肺	肺炎、肺気腫、慢性気管支炎
すい臓	すい炎
肝臓	肝炎、肝硬変
前立腺	前立腺肥大、前立腺嚢胞
乳	乳腺症、乳腺炎、乳腺線維腺腫
子宮・卵巣	子宮筋腫、子宮内膜症、良性卵巣腫瘍